

令和 7 年度

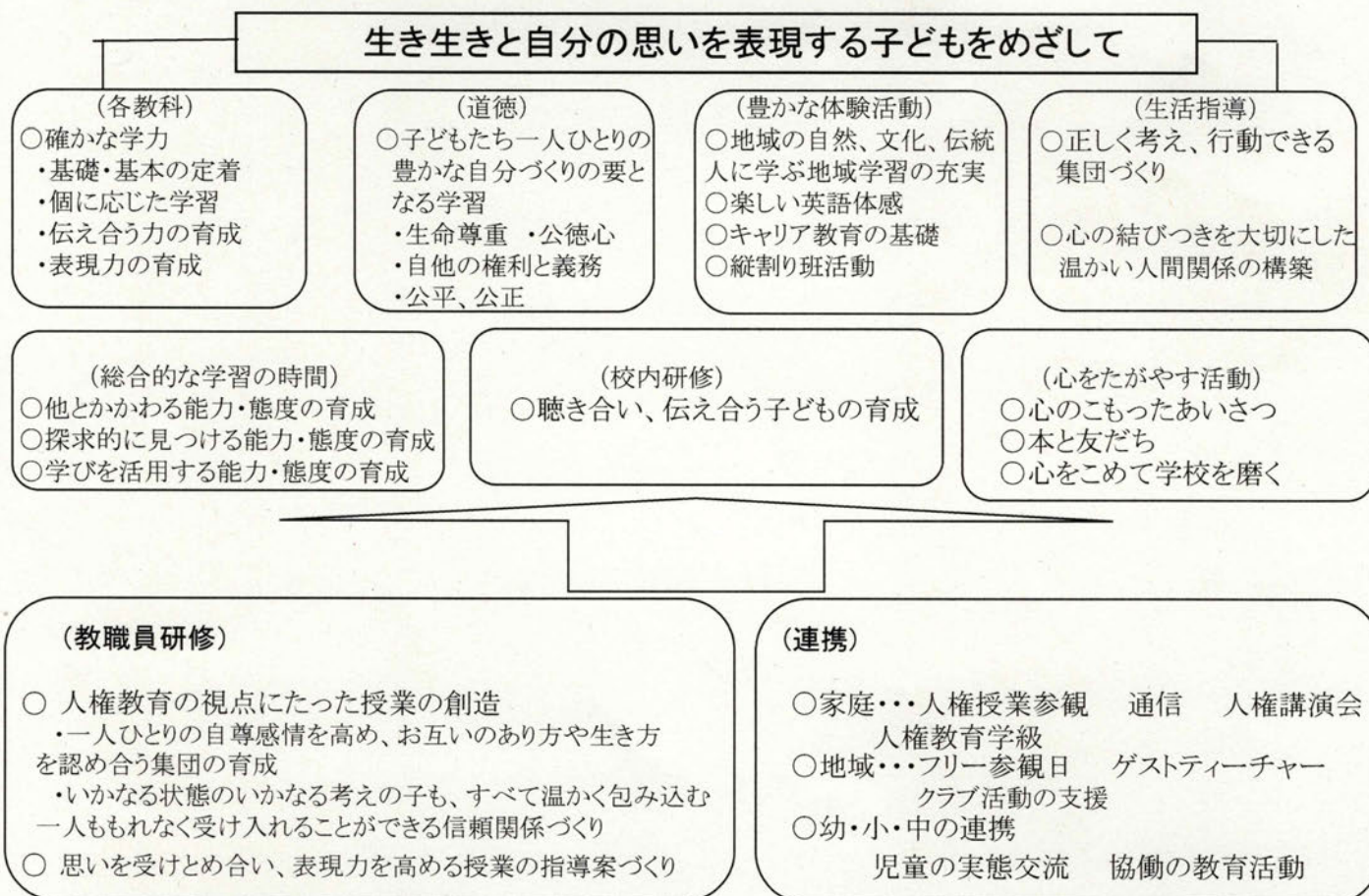
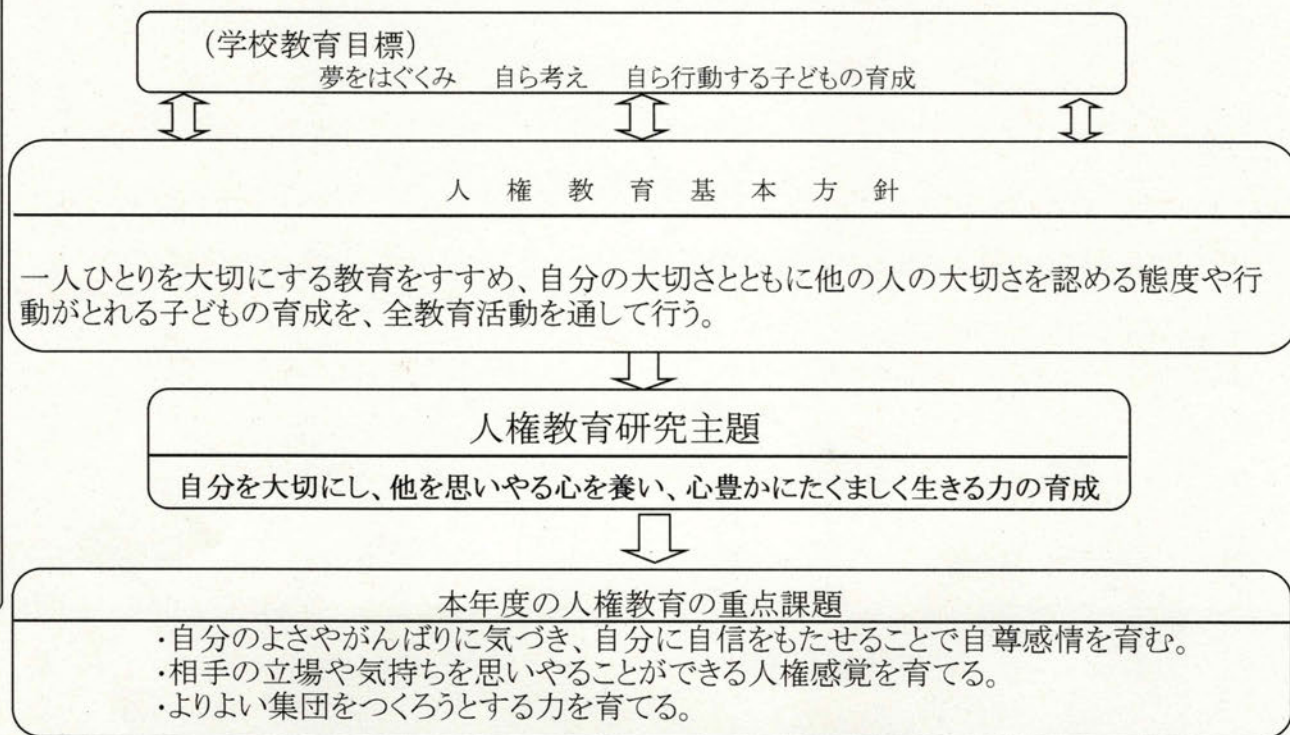
「人権の花」運動 実践報告



別府市南立石小学校

1. 人権教育の基本構想

推進に関する基本法・学習指導要領に関する法令等の解消の



2. 「人権の花」運動の目的

子どもたちが協力して花を育てる活動を通して、心を豊かにし、命の大切さや相手をおもいやる心を養う。

3. 「人権の花」運動でめざす子ども像

命の大切さや自分が大切な存在であることに気づくとともに、自分も相手も同じように大切な存在であることを認め、互いの人権を尊重する行動ができる子ども。

4. スローガン

「人権の花で学校を笑顔であふれさせよう」

5. 年間活動計画

(1) 主な活動内容

○学校の正面玄関前、正面階段両脇、花壇植え込みに花の苗や種を植え、心をこめて育てる。

○花の成長を観察し、写真等で記録する。

○育てたヒマワリの種を次の学校に渡す。

(2) 活動する学年

○3年生 ひまわり

○4年生 サルビア

○5年生 ポーチュラカ

○6年生 マリーゴールド

(3) 活動計画

月	活 動 内 容
5	・「人権の花」運動打ち合わせ ・「人権の花」運動実施計画およびスローガン作り
6	・「人権の花」運動指定書交付式 6月3日(火) 8:30～9:00 ・サルビア ポーチュラカ マリーゴールド 苗植え ・ヒマワリ 種植え
7	・栽培(みずやり等)、観察や記録
8	・栽培(みずやり等)、観察や記録
9	・栽培(みずやり等)、観察や記録
10	・栽培(みずやり等) 観察や記録
11	・栽培(みずやり等) 観察や記録
12	・「人権の花」感謝状贈呈式 12月4日(木) 8:20～8:50 ・人権参観日

6. 指定書交付式

日時 令和7年6月3日 場所 南立石小学校体育館

6月3日(火)に南立石小学校体育館で実施されました。共生社会実現・部落差別解消推進課の江川課長より指定書を交付され、「ひまわり」の種と「マリーゴールド」「ポチュラカ」「サルビア」の花の苗をいただきました。人権イメージキャラクターの「人KEN まもる君」と「人KEN あゆみちゃん」も登場し、子どもたちからも大きな歓声が上がりました。スローガンも児童会の子どもたちが考え「人権の花で学校を笑顔であふれさせよう」に決定しました。

交付式後、人権擁護委員さんによる「花咲き山」の読み聞かせが行われ、話の中に引き込まれるような語り口がとても素晴らしく、子どもたちも聞き入っていました。



7. 植ええ・苗植えの様子

それぞれの学年で分担をしながら植ええ・苗植えをしました。



きれいに育てようとする
気持ちが大事だと思う



毎日水やりをして、きれいに
咲いた喜びを味わいたいね



歌を歌いながら
水をあげたいな



愛情をこめて話しかけな
がら観察して、ちゃんと
世話をして優しく大切に
育てたいね



たくさんのきれいな花
を咲かせたら、笑顔が
あふれると思う



マリーゴールド



ポーチュラカ



サルビア



ヒマワリ

8. 感謝状贈呈式

日時 令和7年12月4日 場所 南立石小学校体育館

大分地方法務局人権擁護課や人権擁護委員協議会別府地区会の方々に出席して頂き、市民福祉部長の田辺様より感謝状をいただきました。学校からは児童を代表して6年生が「初めは、花と人権はどんな繋がりがあるのかなと思っていました。しかし、みんなで一緒に花を植えたり、水を上げたりすることが優しい心を育てることに繋がると感じました。それに、花を見ると穏やかな気持ちになれます。人権の花運動で学校に花がたくさんあふれて、学校みんなの中にも優しい心が溢れたんじゃないかと思いました。これからも、学校みんなの心の中に人権の花を咲かせ続けたいと思います。」と感謝の言葉を述べました。

指定書交付式の時にも来てくれたイメージキャラクターの「人 KEN まもる君」と「人 KEN あゆみちゃん」も登場してくれました。子どもたちはペンやタオル等たくさんのお土産もいただきました。

その後、人権擁護委員の方々による「人権クイズ」が行われ、点字ブロックや自動ドア、ユニバーサルデザインのされたシャンプーやリンス等、自分たちの身の回りにはみんなが使いやすいよう工夫されたものがたくさんあることを、クイズを交えながら分かりやすく説明をしてくれました。

また、今回育てたヒマワリの種は、次の「人権の花」を育てる臼杵市の小学校へ手紙を添えて送りました。

9. 考察

【成果】

4種類の種と苗をいただき、水やりや日当たりに気を配りながら大切に育ててきた結果、黄色や赤、オレンジなど色とりどりの花が元気に咲きそろった。苗が大きくなり、蕾が出て、花が咲くという成長過程の中で、子どもたちも花を育てることのうれしさを感じ取れたようだ。

特に、「ひまわり」は種から植え、自分たちの背の高さ以上に大きく成長するので、育て甲斐もあったようである。理科の教材でも扱うし育てやすく種も収穫できるので担当の3年生は、大きな花を咲かせたときとても喜んでいた。

【課題】

子どもによって温度差があり、一生懸命育てようとする児童もいれば、あまり興味を示さず人任せにしてしまう児童もいた。もっとみんなで育てようとする意識を持つような指導が必要であったと感じる。

また、夏季休業中は水やりも大変で、担当を決めたりもしたが、どうしても徹底することができず、一部職員に頼ってしまうのが現状であった。

さらに、今年は異常な暑さが続いたことで、水やりのタイミングが難しくうまく育てることができなかった花もあった。